

鐘 恒シヨウ コウ

熊本大学大学院医学教育部
修士課程二年(中国)

令和四年度医学研究助成金・外国人留学生奨学金の授与式を開催

令和四年度肥後医育振興会医学研究助成金及び肥後医育振興会外国人留学生奨学金の合同授与式が、令和四年十月二十七日に肥後医育記念館二階展示室において行われ、西勝英理事長から



医学研究助成金四名、外国人留学生奨学金四名に対して、各十五万円が受賞者ひとり一人に手渡されました。また、受賞者を代表して石井正将氏、ベガム・エムエステイ・モニラ氏から謝辞及び今後の決意が述べられました。

令和四年度熊本大病院群卒後臨床研修プログラム 研修医育成事業報告

熊本大病院 総合臨床研修センター長 向山 政志

平素より熊本大病院群卒後臨床研修プログラムの研修医の指導・育成にご協力頂き、誠に有難うございます。

令和四年度はやはり、COVID-19に翻弄された一年でありました。とはいえ、これまでのノウハウの蓄積から医療崩壊に繋がることなく、また教育活動、学会活動においてもオンラインが極めて当り前になり社会全体が使いこなせるようになったことから、事実上New Normalの時代になったと思います。さらに、第七波の終わり頃から徐々に移動制限の解除を含めた解禁の兆しがあり、多くの学会において対面式の参加が増加しました。十一月に熊本大学が主管した日本腎臓学会西

部学術大会においても、現地とWebを含めこれまで最大の参加者数を得ることができました。ご協力いただいた先生方に改めて感謝申し上げます。

ただ、学生・研修医に対する説明会はオンラインが中心となったこともあり、十分なPR活動ができなかったことも事実です。初期臨床研修医については、熊本大病院群の一次マッチングが十一名(昨年度六名)、最終的に採用者数十二名(昨年度七名)と増加はしたものの、今後さらに積極的にPR・勧誘活動を行っていく所存です。

その一環として、学生・初期研修医に対してアンケート調査を定期的に実施しています。そのなかで、昨年度大幅に変更して新設した「自由設計コース」の人気の高いことがわかり、今回の採用者もすべてこのコースを選択しています。これは、個々の希望に合わせて響がけの研修病院(三つまで可)・研修期間・診療科の選択が自由にできることが特徴で、救急や地域医療も多くの施設から選択できるようになっています。また、大病院研修中には研修診療科と関係なく、月二日程度救急

研修ができるようにプログラム改善を図りました。これについてはさらに回数を増やす予定です。一方で、住居手当を含めた処遇改善も図り、より大学

病院での研修が魅力的になるべく努めています。加えて、充実した指導体制のもと大学ならではの症例を経験できる、多くのレクチャーや講習会など熊本大病院所属ならではの勉強ができる、三年目以降の専門研修へのシームレスな移行が可能など、本プログラムの魅力をより積極的に学生・研修医に呼びかけていきます。今後は現在検討中の短期海外研修を含め、さらに魅力あるプログラムを構築し、研修医・専攻医の確保に努めるとともに、当卒後研修プログラムが県内の医師育成に貢献できるよう、より一層努力していく所存です。肥後医育振興会の皆様には今後ともご支援・ご指導のほど、よろしくお願ひ申し上げます。

第二十二回熊本大学医学部医学科医子教育FDワークショップを開催して

熊本大学医学部 医学科長

中村 公俊

熊本大学医学部医学科医学教育FDワークショップ(FDWS)は、医学教育に携わる大学教員の教育能力を高め、大学の組織的改革を目的として、二〇〇〇年に第一回が開催されて以来毎年開催されており、今回の開催が二